



平成29年8月9日

各 位

会社名 株式会社安江工務店
代表者名 代表取締役社長 安江博幸
(コード番号：1439 東証JASDAQ・名証第二部)
問合せ先 取締役 印田昭彦
事業サポート部長
(TEL 052-223-1100)

平成29年12月期 第2四半期累計期間業績予想と実績の差異に関するお知らせ

平成29年2月14日において発表いたしました平成29年12月期(平成29年1月1日～平成29年12月31日)の第2四半期累計期間(平成29年1月1日～平成29年6月30日)の業績予想と実績の差異について下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成29年12月期第2四半期累計期間業績予想と実績の差異(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,887	百万円 108	百万円 84	百万円 55	円 銭 46.24
実績(B)	1,676	△28	△44	△34	△28.50
増減額(B-A)	△210	△136	△129	△90	—
増減率(%)	△11.2	—	—	—	—

2. 差異の理由

第2四半期会計期間における売上高は1,005百万円、営業利益は40百万円と順調に回復してきたものの、主力の住宅リフォーム事業でインターネット経由の集客による大規模改装案件の受注が増加し、設計仕様等の打合せ期間の確保の必要等から、受注から完工引渡しまでが長期化していることの影響により、売上が第3四半期以降に後倒しになり、第2四半期累計期間の売上高は上記の結果となりました。加えて、増加する案件や施工に対応するため、人員計画における採用を前倒して行ったため人件費が増加して営業利益を押し下げることとなり、これに伴い、経常利益、四半期純利益(純損失)いずれも前回発表を下回る結果となりました。

しかしながら、住宅リフォーム事業の受注残は好調に推移しており、第2四半期末において計画比161%と確実に回復が見られ、業績は下期偏重となるものの、上期において施工体制の拡充を図ってきたことから、期中に完工引渡しが進む見通しです。

また、新築住宅事業及び不動産流通事業の業績につきましては、堅調に推移しております。

なお、通期の業績予想につきましては、住宅リフォーム事業の受注状況が好調に推移していることから、公表した通期の業績予想値に変更はございません。

今後、現時点では予想不能な事態の発生により、業績予想修正の必要性及び公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上